

地域のコントラクター組織を活用しましょう!



「畜産技術普及センター」

自給飼料の生産拡大は、近年の飼料価格高騰への対応や、食糧自給率向上を図るうえで重要な課題ですが、担い手の多くを占める高齢者にとっては、様々な作業や機械への投資は大きな負担となるため、コントラクター組織は救世主ともいえる存在です。

そして、飼養頭数の増加にともなう労働力不足や作業の高度化を背景に、今後さらにコントラクター組織の需要が高まることが想定されます。

本県では、北杜市に清里飼料生産組合、長坂ファーム組合、富士河口湖町に飼料生産組合AFS(アグリフィードサービス)があり、飼料作物の播種や刈り取り、堆肥運搬・散布などの作業を請け負い、近隣農家の支援を行っています。

畜産技術普及センターでは、今後も継続してコントラクター組織の育成や機能強化を図っていきます。



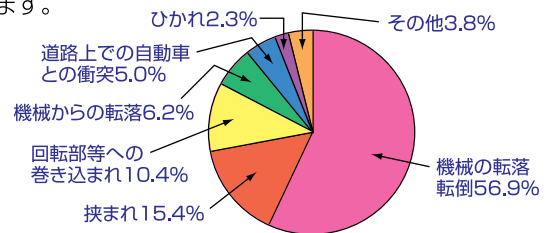
農作業安全について

●作業はきちんと 服装、装備で

農作業の省力化と経営の合理化を進めるため、農業機械は、必要不可欠なものとなっています。農繁期を迎え、忙しい中での農業機械の利用が多くなるに従い、農作業事故が増加することが懸念されます。

農作業中の死亡事故は、全国で毎年400件近く発生しており、そのうち農業機械による事故が約7割を占めています。農業機械作業に係る事故では、機械の転落・転倒が最も多く(図参照)、それ以外の作業では、稲わら焼却等による火傷、熱中症なども多くなっています。

県では、農作業事故を防止するため、市町村、農業団体、農業機械販売店等の協力を得ながら、農作業安全運動を実施しています。



農業機械作業に係る死亡事故の原因割合(2008年、全国)

農家の皆さんは、「焦らず、急がず、慎重に」を合い言葉に、

- 作業時はきちんとした服装をする
- ほ場の出入り、あぜ越えに注意する。
- 移動走行時には人や車に注意する。
- 点検・整備時にはエンジンを停止する。
- 取扱説明書・安全ラベルを理解する。
- 棚・支柱等は目立つように印を付ける。
- できる限り一人での作業は避ける。

などの点に気を付けて、安全な農作業に努めてください。

●園芸施設共済へのご加入をお勧めします。

損害を補てんし 農家経営を守る



●突風により倒壊したハウス



加入しとけば安心だね



ハウス栽培農家の皆さん、災害に対する備えは万全ですか? 最近は局地的な突風や降ひょうなど予期せぬ災害が多く発生しています。本年も3月の大雪では、県内の多くのハウスが倒壊するなど大きな被害が発生しました。また、近年の台風は強い勢力を保ったまま接近、上陸するのが特徴です。

園芸施設共済はこうした災害によるハウスの損害を補てんし、農家の経営を守る国の災害補償制度です。加入は2ヶ月から12ヶ月の範囲で被覆している期間に応じて加入できます。頻発する気象災害に備え、園芸施設共済へのご加入をお勧めします。

詳しくはお近くのNOSAI(農業共済組合)までお問い合わせください。



- NOSAI山梨中央 TEL.055(266)4411
- NOSAI峡中・南部 TEL.055(282)0443
- NOSAI北巨摩 TEL.0551(23)1111
- NOSAI富士 TEL.0554(45)6611